

遠隔
細胞培養

クロマチン
免疫沈降

人材
活用

インタラク
トーム

在宅
研究

オミクス

プロトコル
シェア

再現性

ロボット・シェアリング共同研究開発 キックオフシンポジウム

『AI×ロボットが切り拓くライフサイエンスの未来』

日時 | 2017年7月6日(木) 13:00-17:00

場所 | 九州大学・病院キャンパス
コラボステーションI (2F)・視聴覚ホール

演者 | 浅原 弘嗣 (東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科)
中山 敬一 (九州大学・生体防御医学研究所)
佐谷 秀行 (慶應義塾大学・医学部・先端医科学研究所)
高橋 政代 (理化学研究所・多細胞システム形成研究センター)
谷内江 望 (東京大学・先端科学技術研究センター)

- 事前の参加登録は不要です。直接会場までお越しください。
- 当日の受付をスムーズにするため名刺を2枚ご用意ください。

主催



九州大学



RIBI

協賛

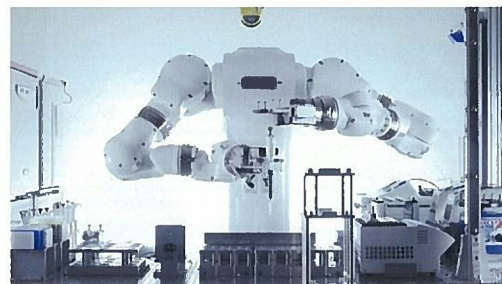
株式会社安川電機

2017年6月1日、国立大学法人九州大学・生体防御医学研究所とロボティック・バイオロジー・インスティテュート株式会社（RBI株式会社）は、「ロボット・シェアリング※」のための設備を九州大学病院キャンパス内に設置し、世界初となるロボットによるライフサイエンスの共同研究を推進することとしました。

ロボット・シェアリングは、何処にいても誰でもインターネットを介して、ロボットによる高度な研究分析をリモートで利用可能となり、研究・開発現場の構造を一変させる、未来型のサイエンスを生み出す可能性を秘めています。

本シンポジウムでは国内で LabDroid「まほろ」を活用し研究を推進している第一線の研究者が最新的话题を提供するとともに、ロボット・シェアリングが描く未来について広く議論します。

※ ロボット・シェアリングとは、世界の第一線の研究者のみがもつ高難易度な実験技術を実装した汎用ヒト型ロボット LabDroid「まほろ」を共同利用することにより、高度な研究分析技術を全ての研究者が共有・再現することを可能とする新しい仕組みのことです。RBI 株式会社は、国立研究法人産業技術総合研究所と株式会社安川電機により共同開発した LabDroid「まほろ」に、九州大学で確立された優れた実験プロトコルを実装し、共同研究を推進します。



汎用ヒト型ロボット LabDroid「まほろ」



共同研究開発ラボ
九州大学・生体防御医学研究所

プログラム

- 主催者開催挨拶 久保 千春 九州大学・総長
- 来賓祝辞 高橋 直人 経済産業省・九州経済産業局・局長
- 「ロボット・シェアリング」共同研究紹介 夏目 徹（産業技術総合研究所・創薬分子プロファイリングセンター長 兼 RBI 株式会社・取締役 CSO）
- 演者
 - ・ 浅原 弘嗣（東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科・教授）
 - ・ 中山 敬一（九州大学・生体防御医学研究所・主幹教授）
 - ・ 佐谷 秀行（慶應義塾大学・医学部・先端医科学研究所・教授）
 - ・ 高橋 政代（理化学研究所・多細胞システム形成研究センター・プロジェクトリーダー）
 - ・ 谷内江 望（東京大学・先端科学技術研究センター・准教授）
- 17:00 より同会場にて懇親会（参加費無料・事前登録不要）を予定しております。

お問い合わせ先

国立大学法人九州大学・生体防御医学研究所
主幹教授・中山敬一
TEL 092-642-6815
E-mail nakayak1@bioreg.kyushu-u.ac.jp

ロボティック・バイオロジー・インスティテュート株式会社
業務推進グループ・廣瀬貴子
TEL 03-6380-7100
E-mail takako.hirose@rbi.co.jp